

秋号
第327号

一粒の麦



社会福祉法人エデンの園

2022年10月15日

ひとつぶのむぎ



収穫の秋

聖書のことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。(聖書 ヨハネの福音書12章24節)

～こんな時代だからこそ～

第2福祉課 リーダー 川野 泉

昨年4月から第2福祉課のリーダーと今年度から放課後等デイサービス麦わらぼうしの管理者を拝命いたしました。

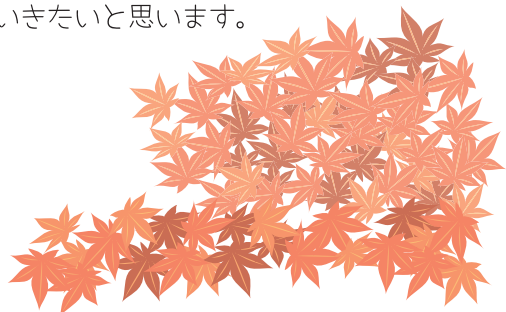
初めてのリーダーを経験し2年がたちました。リーダーと聞いて、一番初めに思いついた言葉が、マネジメントでした。マネジメントとは、経営学者として知られる、P.F.ドラッカーが1973年に刊行した「マネジメント」から生まれたと言われています。マネジメントに求められる役割は、1.組織が果たすべきミッションを達成する、2.組織で働く人たちを生かす、3.社会に貢献する、です。これらの3つを考えたときに、私は目の前に広く大きな世界が広がった気がして怖くなった事を覚えています。

一昨年から新型コロナウイルスの感染、戦争、物価高など法人においても、利用者（児）様にとっても先の見えない不安な日々が続いていると思います。今後の法人として、事業所としての運営を考えた時に、マネジメントがいかに大切が痛感しており、法人の重点目標、事業所としての重点目標を道筋に、組織が果たすべきミッションを達成して行きたいと考えます。また、職員一人一人と向き合い、一緒に伴走し職員が自走出来るような指導を行う事が重要で、職員のキャリアアップ、レベルアップが今後の法人や事業所に必要なことです。このレベルアップが利用者（児）様へ還元されることでより満足度が向上すると思います。そして、ミッションを達成し職員一人一人のレベルアップは利用者（児）様の満足度だけではなく、地域のニーズにこたえ、貢献できる法人、事業所となっていくと思います。事業所のマネジメント、

職員のマネジメントをコツコツと続けていく事により、持続可能な法人となり、エデンの園の法人理念を体現出来ると思います。

リーダーや管理者になり、日々利用者（児）様のこと、職員のこと、事業所のことを考えています。利用者（児）様や職員が何を考え、思っているのが常に考えるようになりました。マネジメントをする為だけではなく、一人の人間として相手に向き合いコミュニケーションを取ることが必要で、思いや考えをくみ取り支えていく事が皆さんの成長に繋がっていくと感じたからです。麦わらぼうしでは、未来ある子どもたちの成長を手助けしています。ただ活動をしているから成長している訳ではなく、子どもたちの思いや、言葉を聞き向き合う事で少しずつ成長しています。ある2年生の児童が、他の児童にちょっかいを出していました。今回のちょっかいの時にも注意をしようとしたのですが、自ら「さっきはごめんね。」と謝っている姿をみて、少しずつ成長しているんだなぁと感じました。同時に、職員が諦めずに向き合い接することで成長に繋がったとおもいます。

マネジメントとカッコいい言葉で説明をしましたが、「相手に興味を持つ」こと、「共感する」ことが大切で、一番難しい事だと思います。しかし、こんな時代だからこそ人と人との繋がりが大切にし、マネジメントをしていきたいと思っています。



それぞれの事業所から

エデンの園 第1福祉課

●エデンの園

夏の思い出作り

エデンの園入所施設では、8月～9月にかけて、夏祭り・秋祭り・かき氷祭り・敬老会等、各エリアで様々な行事を行いました。それぞれ輪投げ・ヨーヨー・もぐら叩きといった催し物や、綿菓子、たこ焼き、かき氷などの食べ物を準備しました。普段と変わった雰囲気、利用者さんの表情もとても良く職員含めて楽しむことが出来ました。

サブリーダー 河野 仁 美



●エデンの園 ふれあい

室内装飾頑張っています！

ふれあいでは日々の活動の中で、創作活動として室内装飾に取り組んでいます。秋の装飾準備では、ピンクや赤紫色の折り紙を使ってコスモスを作成したり、紫色の折り紙を手で丸め、秋の味覚（ブドウの実等）を作ったりと、利用者さんを中心に一人ひとりが役割を持ちながら、楽しく取り組まれていました。完成した装飾物が玄関や活動室内に飾られると、嬉しそうに自分が作られたものを見ており、秋を待ちわびている様子も窺えました。

これからもふれあいの装飾を通して、四季折々のすばらしい魅力を感じながら、ふれあいが皆さんにとって心の“やすらぎ”や“憩いの場”となりますように、支援者として願っています。

生活支援員 日 高 信二郎

●エデンホーム三名

敬老の日の食事会

甚大な被害をもたらした台風14号の余波の残る9月19日、ホームの最年長の釘松喜代次さん（73歳）を敬い皆で食事会を行いました。釘松さんの「コロナに負けず、ホームみらいの皆で仲良く頑張っていきましょう」の挨拶に続き、スーパードライ（ノンアルコール）で乾杯。弁当に舌鼓を打ちました。又、「うちは、大丈夫よ」と台風のなか美味しいお弁当を作り、届けてくださった落合ストア様にも感謝です。

管理者 林 裕 一



エデンの園 第2福祉課

●就労継続支援B型事業所つむぎ

有料老人ホームで洗濯物の仕分け作業をされているところです。

作業内容

- ①入居者様の洗濯物を回収
- ②洗濯場で洗濯機、乾燥機を使い仕上げる
- ③仕上がった洗濯物を衣類やタオル類に分け個人用洗濯カゴに決められた手順で入れていく。

男性が女性の衣類をたんだりするので慣れるまでは苦勞されています。

目標工賃達成指導員 小川 眞一



●放課後等デイサービス 麦わらぼうし

麦わらぼうしで夏祭りを行いました!!

8月27日に麦わらぼうしで夏祭りを行いました。

かき氷、ヨーヨー釣り、輪投げ、ラムネ一気飲み、手作りお神輿担ぎなど各アトラクションを用意しました。ラムネ一気飲みでは子ども達だけではなく、職員も参加し、児童の歓声が響いていました!「楽しかった!」「また来年もしたい!」などと夏休みの一つの思い出になったのではないかと思います!

来年度はコロナ感染症の終息を願い、今回はできませんでしたが、家族も参加でき盛大に開催出来るように職員一同思った所でした。

児童指導員 星崎 悠成



●エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)

ホームでの出来事

夏から秋にかけてホームの方では色々な出来事がありました。夏と言えば夏祭り!コロナの影響もあって普段他事業所の利用者(児)と触れ合う機会もありませんでしたが、同じ敷地内と言う事で、青い鳥では、麦わらぼうしさんの夏祭りに少しばかり参加させていただきました。ほのかの方では、ホーム内にて誕生会(喜寿祝い)を行い、楽しい時間を過ごしました。これから秋にかけて少しずつ涼しい日々になってきます。コロナで思うようにいかない日々も続いていますが、これからも皆さん元気に楽しく過ごしていきたいと思えます。世話人兼生活支援員 保利 翼



「それぞれの自立支援」

皆様 初めまして。令和4年度8月1日に開所いたしました『ひえんと居宅介護支援事業所』と申します。今回このような機会をいただきありがとうございます。

台風14号が、日本縦断し、各方面に被害がでました。皆様のお住まいはいかがだったでしょうか？

今回は、「介護保険とは？」「介護支援専門員(ケアマネジャー)とは？」この2点についてお伝えできればと思います。「介護保険って、うちのおばあちゃんが利用している」「介護支援専門員さんって聞いたことがあるような、ないような・・・」

介護保険制度以前は、介護は家族がするもの、女性がするのが当たり前と思われた時代がありました。90年代には高齢化率が12%に達し、この時点で国は老人福祉制度に関する政策の転換を迫られることとなります。

ここで、従来の施設を利用した介護から在宅での介護に移行するため、また、介護が必要な方の自立を支援・介護を行っている家族の負担軽減などを目的として1997年に「介護保険法」が制定され、2000年4月から介護保険制度が施行されました。

介護保険を利用することができるのは介護保険の被保険者のみとなります。

この被保険者は65歳以上の方は第一号被保険者、40歳～64歳までの方は第二号被保険者に該当することとなります。

次に介護支援専門員(ケアマネジャー)について、ご紹介させていただきます。

わかりやすく言うと介護認定を受け、介護保険サービスを利用する方などからの相談に応じ、利用者の希望や心身の状態を考慮して、在宅や施設での適切なサービスが受けられるように、ケアプラン(介護サービス計画)を立てたり、関係機関との連絡調整をおこなったりするのが、介護支援専門員(ケアマネジャー)です。

介護分野では、支援を必要とする人の自己選択・自己決定を自立として重視する傾向があります。身体的・精神的な障害や弱みがあったとしても、なされるがままに生かされる訳ではなく、本人の気持ちを尊重して、自分が選んだ方法で支援されるべきという考えからです。

「幸せって何ですか？」と質問をされたらなんと答えるでしょうか？「おいしい物を食べること」「旅行に行く」など人それぞれ違いはあると思います。

幸せは、『気付くもの』だということ。なぜそう思うかは、幸せは人によって違うからだと思います。そして利用者や家族の自立した生活の支援をさせていただいている私たち介護支援専門員は、幸せ探しのお手伝いをさせていただく気持ちで日々の業務にあたってまいりたいと考えております。



～各事業所の夏の思い出～



すみれエリア夏祭り（エデンの園）



ゆりエリア夏祭り（エデンの園）



避難訓練（つむぎ）



今年度もコロナウイルス感染症拡大の影響で各事業所の催し物がなくなったり、縮小されたりしました。

そのなかでも、各事業所規模を小さくして可能な限り季節に応じた行事を取り入れました。！



ふれあい夏祭り



青い鳥夏祭り



ほのか夏祭り



川遊びをしました★（麦わらぼうし）

土曜学校メッセージ

金桓基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）
荒平大輔牧師・海老原直宏牧師（宮崎北聖書キリスト教会）、
山口英希牧師（宮崎清水協会）、浅野謙牧師（きりしまキリスト教会）

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



Facebook
ホームページ

寄贈品・寄附金・ボランティアありがとうございます。（7月～9月）

宮王丸郵便局様、落合初江様、落合則行様、ライフサポート様、富士産業様、都城点訳・音訳友の会様、長友さゆり様、岩崎様、岩切真弓様、マルイプロパン様、コスモ設計様、トヨタレンタリース様、あすか保険様、渡部工務店様、綾グリーンガーデン様、奈須亮介様

編集後記

夏の暑さが未だ続いておりますが、少しずつ朝方や夕方肌寒い気温となりつつあり、秋らしい季節になってきました。終わりの見えないコロナの状況に加え、ここ数日には大型の台風も宮崎へ接近し、大きな被害を受けた場所もあると聞きしています。思うように過ごせない生活が続いていますが、利用者の方が楽しく・そして安全に過ごす事が出来るように、職員一同頑張っ参ります。今後とも宜しくお願いします。

エデンホーム森永 保利 翼

■発行日 2022年10月15日 ■発行 社会福祉法人エデンの園 ■発行者 エデンの園ゼネラルマネージャー 甲斐さち子
〒880-1114 宮崎県東諸県郡国富町三名2621-5 TEL.0985-65-6685 FAX.0985-75-1160
<http://miyazakieden/ec-net.jp/> E-mail miyazaki-eden@sirius.ocn.ne.jp